

## 2 社会

### 小学校第5学年【社会】

#### ◆ 授業改善のポイント

- 児童が社会的な見方・考え方を働かせ、資料から調べた事実を基に、課題を追究したり解決したりする学習活動の一層の充実を図ります。
- 授業に資料活用場面を明確に位置付け、「この資料からどのようなことが言えるか」という問いに基づく学習活動を丁寧に行います。また、学習問題の解決に当たって、複数の資料を使う状況を設定し、読み取った内容を関連付けて考察する力の育成を図ります。

#### ◆ 今回の調査結果から明らかになった成果と課題

成果：資料を読み取った内容を基に社会的事象の意味を捉えることについては概ねできています。  
 課題①：複数の資料を適切に読み取り、それぞれの内容を関連付けて考察する力が十分ではありません。  
 課題②：社会的事象の意味について考察したことを適切に表現する力が十分ではありません。

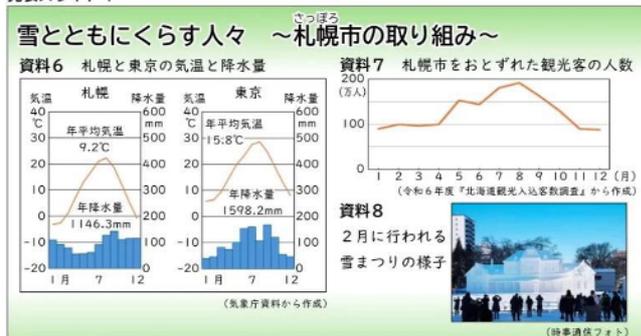
#### ◆ 成果が見られた問題の概要 大問2(4)「わたしたちの国土」(思考・判断・表現)

##### 【設問の概要】

気候に特色のある地域での暮らしに関する資料を読み取り、考察しているどうかをみます。

あずさんは、次の発表スライド4と説明文4を作りました。説明文4の  ④  にあてはまる内容として適切なものを、あとの1から4までの中から1つ選びましょう。

発表スライド4



説明文4

札幌市は、北海道の道庁所在地で、北海道最多の人口をかかえています。また、たくさん見どころがあるため、おとずれる観光客も多いです。しかし、夏に比べて、冬は観光客の数が減るため、 ④ として「さっぽろ雪まつり」が行われています。

##### 【選択肢】

- 1 雪や寒さを利用して生産された農作物を観光客に売る行事
- 2 観光客に札幌市の雪対策のすばらしさを知ってもらう行事
- 3 雪の多い札幌市の暮らしのきびしさを観光客が体験する行事
- 4 雪を利用して札幌市の冬のみりよくを観光客に伝える行事

##### 【指導継続のポイント】

- 社会的事象の特色や意味を考察する学習の一層の充実を図ります。例えば、「札幌市では冬のみりよくを観光客に伝える『さっぽろ雪まつり』が行われている」ことについて、児童がまつりの歴史や関係者の願いなどを調べ、見いだした事象を基に考察する学習活動を継続します。
- 例えば、子供が札幌市の月別観光客数の推移に着目し、冬に観光客が減少する理由やその対策について問いをもって追究する学習過程を大切にします。問いを成立させるために、子供の知的好奇心を喚起する教材の提示や複数の事象の比較などの手立てを工夫します。

平均正答率 (%)	本県	市町村	自校
	86.4		

正答	解答類型	反応率 (%)	自校
	1と解答しているもの	3.5	
	2と解答しているもの	5.3	
	3と解答しているもの	4.7	
◎	4と解答しているもの	86.4	
	無解答	0.1	

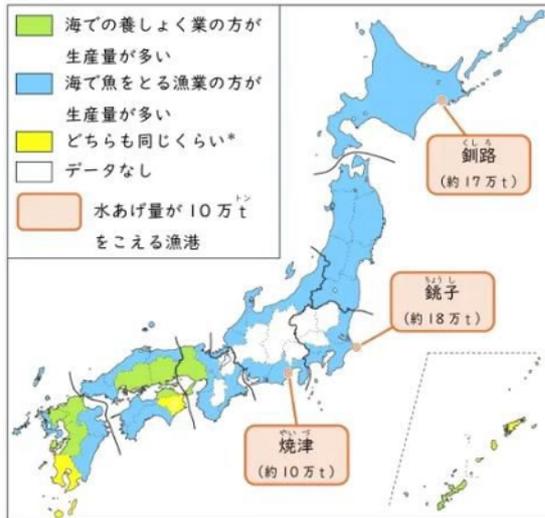
◆ 課題が見られた問題の概要① 大問4(1)「生活と食料生産」(知識・技能)

【設問の概要】

日本の水産業に関する資料を読み取ることができるかどうかをみます。

なつみさんは、調べを進める中で次の資料1を見つけ、そこから読み取ったことをメモにまとめました。資料1から読み取れることとして適切なものを、メモの1から5までの文の中から2つ選びましょう。

資料1



\* 両方の差が、1,000t以内の場合。

メモ

- ・焼津や銚子などの漁港は、三陸沖に近いので水あげ量が多くなっています。……………1
- ・水あげ量が10万t以上の漁港は、日本海側と太平洋側の両方にあります。……………2
- ・水あげ量が10万t以上の漁港は、北海道地方と関東地方、中部地方にあります。……………3
- ・中国・四国地方で、海での養しよく業の方がさかんな県は、すべて日本海に面しています。……………4
- ・近畿地方で、海での養しよく業の方がさかんな府や県は、兵庫県だけです。……………5

【選択肢】

1:1の文 2:2の文 3:3の文 4:4の文 5:5の文

【問題点】

- 複数の資料から読み取った内容を関連付けて考察する力が十分ではないことが挙げられます。また、解答に必要となる都道府県の名称と位置などについての理解が十分でないことも考えられます。

【改善点】

- 児童が資料の読み取りに習熟するためには、各授業に資料活用の場面を明確に位置付け、「この資料からどのようなことが言えるか」という問いに基づく活動を繰り返します。教師は、児童の読み取った内容(発言や記述)を十分に生かしながら、読み取りのポイント(着目する箇所、読み取り方など)を具体的に指導します。
- 学習問題の解決に当たって、複数の資料を使う状況を設定します。また、地図や図表、グラフ、模式図、写真などの多様な資料を関連付けて考察する学習活動を繰り返します。

平均正答率 (%)	本県	市町村	自校
	24.5		

正答	解答類型	反応率(%)	自校
	1と解答しているもの	45.5	
	2と解答しているもの	21.3	
◎	3と解答しているもの	67.4	
	4と解答しているもの	27.3	
◎	5と解答しているもの	37.3	
	無解答	0.1	

(全ての選択肢が正解の場合のみ得点)

◆ 課題が見られた問題の概要② 大問2(2)「わたしたちの国土」(思考・判断・表現)

【設問の概要】

日本の気候の特色をまとめた資料について考察し、判断しているかどうかをみます。

かなえさんは、次の発表スライド2と説明文2を作りました。発表スライド2の  ㉑ ,  ㉒ に入る図として適切なものを、あとの【選択パネル】からそれぞれ選んであてはめましょう。

発表スライド2

日本の気候について ①

季節風：季節によってふく向きが変わる風。

資料4 中国・四国地方にふく季節風

《夏にふく季節風》

《冬にふく季節風》

説明文2

日本は、夏には南東からの季節風がふき、冬には北西からの季節風がふきます。この季節風によって、地域ごとの気候にさまざまな特色が生まれます。

【選択パネル】

しめった風

かわいた風

しめった風

かわいた風

【問題点】

- 「冬の日本海側の地域では、降雪量が多い」ことを説明する際に必要な情報(大陸からしめった風が吹くなど)を関連付けて表現する力が十分ではないと考えられます。

【改善点】

- 「なぜ、冬の日本海側の地域は降水量が多いのだろう」や「季節風は日本の気候にどのような影響を与えているのだろう」などの問いを設けて、調べた事実を基に考察する学習活動の充実を図ります。
- 日本の気候の特色について、代表的な都市の雨温図や日本列島の周辺地図、列島断面の模式図等の資料を活用して説明する学習活動や白地図等にまとめる作業的な学習活動を丁寧に行います。

平均正答率 (%)	本県	市町村	自校
	12.9		

(う)

正答	解答類型	反応率(%)	自校
	1 番目のパネルを選択しているもの	18.6	
	2 番目のパネルを選択しているもの	24.7	
◎	3 番目のパネルを選択しているもの	28.8	
	4 番目のパネルを選択しているもの	27.6	
	無解答	0.3	

(え)

正答	解答類型	反応率(%)	自校
◎	1 番目のパネルを選択しているもの	42.4	
	2 番目のパネルを選択しているもの	18.1	
	3 番目のパネルを選択しているもの	23.8	
	4 番目のパネルを選択しているもの	15.4	
	無解答	0.4	

(全ての空欄が正解の場合のみ得点)